

☆二川本陣について☆

年号	出来事
1601年	徳川家康が東海道の集落に「伝馬朱印状」を下ろして宿に指定し、街道の整備を始める。
1643年	本陣は吉田藩領から幕府領になる。
1644年	二川宿は二川・大岩村の二村で一宿の役割を果たしていたが合併し、一続きの宿場町となる。
1735年	大火災でほぼ全焼、後に再建される。
1806年	馬場家が本陣役を勤めるようになった。
1817年	現在の清明屋が建てられる。
1855年	本陣として最も整備された状態になった。
1985年	3か月をかけて改修工事を行う。
1991年	二川本陣の一般公開を始める。
2023年	今に至る。

皆さんは、「タイムスリップした〜い」と、思ったことはありませんか？そんなときは本陣へ行きましょう。本陣は400年以上前からある歴史的な建物で、今もその姿は当時のものとほとんど変わっていません。なので本当に昔にタイムスリップした気分になれるかもしれません。そんな昔の雰囲気が漂う本陣資料館には大名行列の際に使われていた道具や地図などが展示されています。他にも、江戸時代に実際に使われていた資料など、様々なものを見ることができます。

※入場料 一般 400円 小中高生 100円

ただし！ほの国子どもパスポートを持っていれば無料！

是非行ってみよう！

旅籠屋「清明屋」は、たくさんの人たちが宿泊した場所です。ここで宿場との違いが分からなくなるかもしれないので宿場と旅籠屋の違いを教えます。まず宿場は、主に休憩をする場所で宿泊することができません。一方で旅籠屋は食事付きの宿で、宿泊することができます。



また、当時の旅籠屋の値段は現在の約 3000 円だったそうです。そして旅籠屋は殿様とその家臣は泊まる場所が違いました。殿様だけは専用の部屋があり、本陣で見ることができます。そして床はほとんど畳でできています。また、清明屋では左の写真のように当時の様子

子が人形を使って再現されています。

次は大名行列についてです。大名行列は 3 代将軍徳川家光が行った参勤交代の際に行われたものです。この行列には、家柄や藩の権威といった力や富を誇示する重要な意味合いがありました。大名行列では片道 5 億円、往復ではなんと 10 億円もするそうです。1 日に歩ける距離は 40~43 km で、江戸に行くまで約 12 日かかりました。行列では小さい藩では 100 人ほど、大きい藩では 2000 から 3000 人前後いました。この行列では人数で権威などを見せつけていたので、たまにサクラを用意して人数をかさ増したこともありました。また、民衆の人たちは行列が通っているときは土下座をする、行列を横切ってはいけないなどのルールがありました。もし行列を横切ってしまうととても無礼な行為とみなされ、とても酷い刑罰が下され、1 度だけ打首されたこともあります。ただし、列を乱さなければ飛脚(郵便屋)と産婆(助産師)だけは横切ってもよかったそうです。

まとめ

本陣について調べてみたら、参勤交代で約 10 億円も使っていたことに驚きました。今の本陣になるまでにいろいろな苦労があったんだなと思いました。また、当時の大名は数千人も従えるほど権力があって知って、驚きました。